25年3月2日第三種郵便物認可　日刊(日曜除く)　©苫小牧民報社2017

きょうのニュース

白老22日からデマンドバス運行開始 2
こどもニュース クラゲ主役の水族館人気 10
道高校卓球室支部予選 駒大苫全部門制覇 12
藤井四段活躍などで 将棋に熱い視線 17

The Tomakomai Mimpo

苫小牧民報

2017年(平成29年)
5月20日
土曜日

発行所　苫小牧民報社　〒053−8611　苫小牧市若草町3丁目1番8号　代表電話 0144(32)5311　月決め購読料(税込み)2,440円(1部120円)

「共謀罪」23日衆院通過方針
与党が採決強行、修正可決
法務委

「共謀罪」の構成要件を改めた「テロ等準備罪」を新設する組織犯罪処罰法改正案は19日の衆院法務委員会で、与党と日本維新の会の賛成多数で可決された。民進、共産両党などが抗議する中、与党は採決を強行した。与党は23日の記者会見で「できる限り早く成立させたい」と述べ、今国会で成立させる考えを強調。自民党の竹下亘国対委員長は記者団に「採決に何の瑕疵（かし）もない」と語り、野党側に本会議採決に応じるよう促した。

次第で、衆院議院運営委員長の解任決議案提出も視野に入れている。

民進党の榛葉賀津也参院国対委員長は同日の記者会見で、24日の参院審議入りについて「われわれは徹底審議を求めていく。仮定のことは話せない」と述べるにとどめた。

港湾戦略の可能性探る
松良氏 LNG船舶テーマに講演
苫小牧港利用促進協

のため戦っていく」と述べ、徹底抗戦する考えを強調。本会議採決に向けた与党の出方

におけるLNGバンカリング拠点の形成」をテーマに話した。

松良室長は、2020年から重油を燃料とする船舶の排出ガス規制が始まるとし、有効的な対策方法の一つがLNG燃料船への切り替えと説明。「環境面にも有利で、欧州では先行的に取り入れている」と意欲を見せている。

同同大の研究チームが開発した自己治癒システムは、コンクリートと同じ成分の炭酸カルシウムを生成する特定のバクテリアの代謝活動を生かした技術だ。仕組み的には、バクテリアを休眠状態にして、餌の乳酸カルシウムと共に特殊なペット状マイクロカプセル（直径1㍉、長さ2㍉）にバクテリアが一気に活動を封入し、コンクリート材に配合。コンクリートが劣化してひび割れが生じ、内部に水が浸入した際、カプセルも割れ始める。餌の乳酸カルシウムと酸素を取り込み、炭酸カルシウムを排出するバクテリアの代謝活動が、ひび割れを自然に修復させるという。

コンクリート材へのカプセル混入量によって、最大幅1㍉までのひび割れに対応。カプセル内のバクテリアは休眠状態で200年生きるという。

同社によると、コンクリートのひび割れ対策は永遠のテーマだった。2015年に同大のヘンドリック・ヨンカース教授の研究チームによる自己治癒システムの技術開発を知り、16年4月に同大を訪問。自己治癒コンクリート材を商品化した同大発バイオベンチャー企業バジリスク・コントラクティングBV（デルフト市）と今年春までに、日本での独占販売契約を結んだ。

商品は、噴霧などで施工する液体補修材、こて塗りの補修モルタル、コンクリート練り混ぜ時に混入するタイプの3種類の販売を予定。現在、東京の研究機関で性能試験を行っており、販売開始は夏以降となる見通しだ。

同社は今後、ヨンカース教授との共同研究を進めていき、自己治癒の新たな技術開発にも挑む。同社は「微生物を活用し、〝生きているコンクリート〟を生み出し、コンクリートは冷たいというイメージを覆したい」と意欲を見せている。

自己治癒コンクリートの普及を目指す会沢高圧コンクリート

コンクリート製品製造の会沢高圧コンクリート（本社苫小牧市、会沢祥弘社長）は、バクテリアの力でコンクリートのひび割れを自己修復する画期的な技術の普及を目指している。オランダのデルフト工科大学が開発した新技術で、同社は、同大発ベンチャー企業が商品化した自己治癒コンクリート材の国内独占販売契約を締結し、今年夏以降に販売に乗り出す。同大との共同研究も進め、微生物活用の新たな技術開発に取り組む。

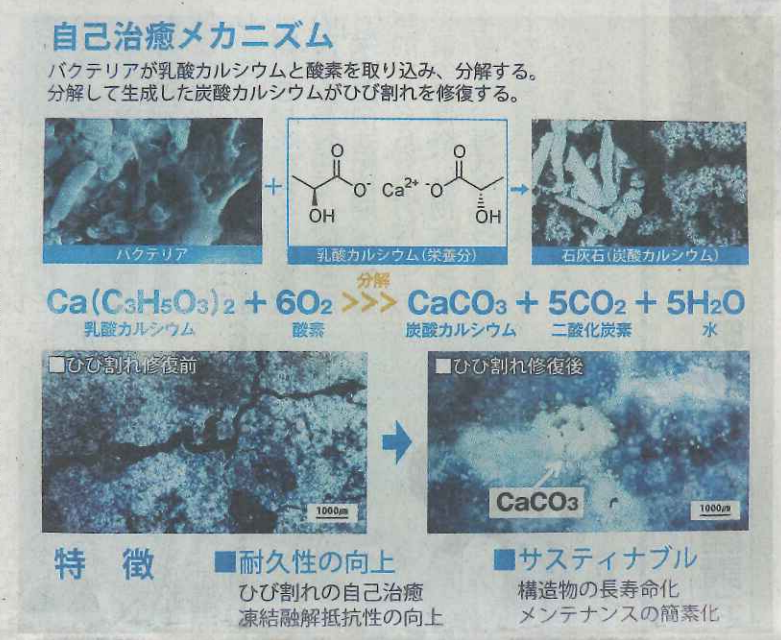
苫小牧の会沢高圧コンクリート
バクテリア活用の自己治癒コンクリ材普及へ
オランダの大学と共同研究
国内独占販売契約を締結
ひび割れを修復

同大の研究チームが開発した自己治癒システムは、コンクリートと同じ成分の炭酸カルシウムを生成する特定のバクテリアの代謝活動を生かした技術だ。仕組み的には、バクテリアを休眠状態にして、餌の乳酸カルシウムと共に特殊なペット状マイクロカプセル（直径1㍉、長さ2㍉）にバクテリアが一気に活動を封入し、コンクリート材に配合。コンクリートが劣化してひび割れが生じ、内部に水が浸入した際、カプセルも割れ始める。餌の乳酸カルシウムと酸素を取り込み、炭酸カルシウムを排出するバクテリアの代謝活動が、ひび割れを自然に修復させるという。

同社によると、コンクリートのひび割れ対策は永遠のテーマだった。2015年に同大のヘンドリック・ヨンカース教授の研究チームによる自己治癒システムの技術開発を知り、16年4月に同大を訪問。自己治癒コンクリート材を商品化した同大発バイオベンチャー企業バジリスク・コントラクティングBV（デルフト市）と今年春までに、日本での独占販売契約を結んだ。

商品は、噴霧などで施工する液体補修材、こて塗りの補修モルタル、コンクリート練り混ぜ時に混入するタイプの3種類の販売を予定。現在、東京の研究機関で性能試験を行っており、販売開始は夏以降となる見通しだ。

同社は今後、ヨンカース教授との共同研究を進めていき、自己治癒の新たな技術開発にも挑む。同社は「微生物を活用し、〝生きているコンクリート〟を生み出し、コンクリートは冷たいというイメージを覆したい」と意欲を見せている。



自己治癒メカニズムを紹介する商品チラシ

同社によると、コンクリート混入量によって、最大幅1㍉までのひび割れに対応。カプセル内のバクテリアは休眠状態で200年生きるという。

同社によると、コンクリートのひび割れ対策は永遠のテーマだった。2015年に同大のヘンドリック・ヨンカース教授の研究チームによる自己治癒システムの技術開発を知り、16年4月に同大を訪問。自己治癒コンクリート材を商品化した同大発バイオベンチャー企業バジリスク・コントラクティングBV（デルフト市）と今年春までに、日本での独占販売契約を結んだ。

商品は、噴霧などで施工する液体補修材、こて塗りの補修モルタル、コンクリート練り混ぜ時に混入するタイプの3種類の販売を予定。現在、東京の研究機関で性能試験を行っており、販売開始は夏以降となる見通しだ。

同社は今後、ヨンカース教授との共同研究を進めていき、自己治癒の新たな技術開発にも挑む。同社は「微生物を活用し、〝生きているコンクリート〟を生み出し、コンクリートは冷たいというイメージを覆したい」と意欲を見せている。

出光興産道製油所のサクラ並木
22日から一般公開

苫小牧市真砂町の出光興産北海道製油所は22日から、構内のサクラ並木の一般公開を始める。26日までの5日間、午前11時と午後3時の1日2回実施する。各回とも先着30人まで。

構内には約120本のヤエザクラがあり、南道路沿いには約800㍍にわたり90本が連なる。花に囲まれたような写真も撮影でき、一般公開を毎年楽しみにしている市民も多い。

構内のサクラは19日現在で2分咲きから3分咲き程度。今春は気温の低い日が続き、平年よりも開花は遅いが、同製油所「今年もきれいに咲いてくれると思う。この機会にぜひ見学に来てほしい」と呼び掛ける。申し込みは同製油所 電話0144（56）0121。平日午前9時から午後5時。

あす休刊日
あす日曜日は休刊日ですので、同日発行本紙は休ませていただきます。

続ひと百人物語
（8面）

糸井の森パーク
ゴルフボランティア
齊藤　純悦さん

並ぶ全国陶器まつり

佐賀県の伊万里・有田焼などを販売する「全国陶器まつり」（愛知県・全国陶器まつり振興会主催）が20日、苫小牧市若草町の中央公園で始まった。

岐阜県の美濃焼、愛知県の瀬戸焼など約8万点を展示販売。青空の下、多くの

夕刊時評
感謝

葬儀が多様化している。仏式の一般葬、家族葬、無宗教葬やお別れ会など。傾向としては家族葬・密葬が増えて般葬に迫っているらしい。

沖縄県・石垣島で2万7000年前の国内最古とみられる全身の人骨が確認され、きのう発表された。あおむけで膝を胸の前に、肘を顔の近くに曲げられており、近くの19体以上の遺骨も同じ姿勢だったとみられる。埋葬はせず風と太陽に任せる葬だった可能性があるそうだ。死者をどう送るか、どう送られたいかは、旧石器時代からの大問題だったのだろう。親の世代のこと、自分の世代のことを先延ばしせずに考えておかねば。古代人にせかされる。

大正時代に8人きょうだいの長女として生まれ、戦前と戦中に娘時代を過ごし、家族やきょうだいの中心になって満100歳まで生きたおばが先日、亡くなった。5人の子どもを育て、10人の孫をかわいがって生きた。好奇心が旺盛で、老いてから水彩画を描き始めた。

千歳本社　〒066-0073 千歳市北斗2丁目10番15号　0123(23)4211
札幌支社　〒062-0921 札幌市豊平区中の島1の6 カトレアハイツ札幌 011(811)8766
■購読の申し込み
フリーダイヤル(0120)323810
■とまみんホームページ
http://www.tomamin.co.jp/
携帯・スマホ